

下野市コンプライアンス確立委員会 議事録

- ・ 審議会等名 令和3年度 第2回下野市コンプライアンス確立委員会
- ・ 日 時 令和3年11月24日(水) 午後1時40分から3時00分
- ・ 場 所 下野市役所 2階 200会議室 (Web会議)
- ・ 出席委員 中村 祐司 委員、矢野 聡 委員、田中 真 委員
- ・ 欠席委員 なし
- ・ 市側出席者 手塚総務部長
(事務局) 倉井総務人事課長、平野課長補佐、奈良主査
- ・ 公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)
※Web会議のため、議事録のみ公開
- ・ 傍聴者 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和3年12月15日

【協議事項等】

1 開 会 (倉井課長)

2 委員長あいさつ (中村委員長)

あらためまして、残念ながら、下野市では不祥事があったということで、そこを逆にエネルギー、あるいは原動力として作られたのが、当委員会であり、熱い志があったと思います。

私自身の力不足な点もありましたが、両委員の支え、及び事務局のコンプライアンス確立及び推進に対する姿勢により、これまでやってまいりました。

昨年度は、残念ながらコロナ禍により、最後の対面の会議から1年以上が過ぎてしまいました。その間、書面会議で対応するなどしてまいりましたが、事務局において作成された資料、実績を見る限り、その内容から、当初の精神をしっかりと受け継ぎ、意欲的に取り組んでいただいているものと思っております。

本日は、初めてのリモートによる会議になりますが、事務局の説明に対して忌憚なく意見を述べるということで、よろしく願いいたします。

3 議 事

- (1) 第二次下野市コンプライアンス推進計画の策定について
- (2) 内部統制制度の導入について

4 その他

5 閉 会

【質疑等】

- (1) 第二次下野市コンプライアンス推進計画の策定について

事務局 資料に基づき説明

委員 これまでの取組を生かして、整理統合しながら、令和4年度からの3年間を見据え

た計画ということですね。

委員 推進計画の 2 頁、「コロナ禍における社会情勢の変化への対応」との記載がありますが、市として捉えている、社会情勢の変化とその対応、また、推進計画の中の、どの部分に反映していくのかを聞かせてください。

事務局 「コロナ禍における社会情勢の変化」につきましては、コロナ禍によるコミュニケーションのあり方の変化を想定しています。例えば、人と人が顔を合わせて、対面で行ってきたコミュニケーションの取り方が、コロナ禍により、会議が書面又はリモートになり、又は研修がリモート等で実施される、あるいはリモートワーク等により、職員が顔を合わせて仕事をする機会が減少するといったことになると思います。

これらの変化がコンプライアンスに与える影響を、コロナ禍による社会情勢の変化といった記載にしたものです。

推進計画への反映といたしましては、施策 19（良好なコミュニケーションづくりと報告・連絡・相談の徹底）、及び各種研修に関する施策が広い意味では該当するものと考えますが、そこまで、明確に反映しているものではありません。

委員 当初計画の達成度が、かなり高い状況にあり、既に達成したものは従前どおり継続していけばよく、未達成の部分を絞り込んで検証していくのかなと思ったのです。

この、コロナ禍の部分は、新機軸であったので、それに対応する検討事項、例えば、WEB会議のあり方や、情報管理、り患者への適切な援助のための情報収集や、センシティブ情報の関わりといったものが考えられます。

わざわざ、これを記載するのであれば、予想されるリスク部分を整理していただいたほうが良いのかなと思います。

事務局 検討をさせていただきます。

委員 全体としては、これまでの取組により施策の目的が達成され、次の計画に移るということで良いのかなと思います。

下野市のコンプライアンス推進指針等による目的は「市民から信頼される市役所の実現」になります。これを完成形として、3年前をスタートにしたときに、今の段階が、どこなのがはつきりしない印象があります。

計画に記載しないまでも、「達成し、現状を維持する」のか、「今はまだ達成途上」なのか、といったことが施策ごとにあっても良いのかと思いました。

委員 グランドデザイン的なもの。

委員 表現は難しいと思いますが。

事務局 施策ごとに、内部では、「できている・できていない」は把握していますが、それを事細かに計画内に表現するのは難しいと思います。

委員 そうですね、例えば、細かい部分ですが、研修で「〇〇を向上させる」というのがあると思いますが、当然、これから向上させる人もいれば、維持の人もいる。そういう細かいニュアンスを変えるだけでも、今の段階が、ある程度達成していて維持のフェーズに入りつつあるのだな、というのを表現しても良いのかなという気がします。

せっかく、これまで積み上げてきたものもあるので、「向上」ばかりだと、読んだ印象としては、「ここまでやってきたのに、まだまだなのか」となってしまう。

当委員会は、当初計画について評価をしているので、市の取組が進んでいるのを実感していますが、この計画単体で見ても、その辺りが伝わるようにしても良いと思

ました。

なお、計画の2頁「3 これまでの取組」のところで書かれているので、無理に出す必要はないのですが、せつかくなので、そういう表現を入れても良いのかと思います。

委員 推進計画3頁の施策3（コンプライアンスに関する自己診断シートの実施）と施策4（コンプライアンスに関する意識調査アンケートの定期的な実施）について、職員の方の理解は浸透しつつあるという印象でしょうか。

事務局 アンケートの内容は、1回目よりも前向きな意識を感じています。

委員 理解を得られているということであれば結構です。

委員 施策が整理統合されたことにより、当初計画の最終年度の評価と第二次計画の評価が変わってしまう、過年度の積み重ねを無視してしまうような評価にならないか懸念されます。

委員 会議資料に、当初計画と第二次計画の整理統合についての早見表がありますが、これは計画の一部ではないのでしょうか。

事務局 内部の参考資料として作成したものです。計画の参考資料とした方がよいのであれば、そのように対応いたします。

委員 委員の懸念にも、こたえられるのでは。

事務局 確かに、委員の懸念は理解できますが、あくまで第二次推進計画の具体的取組を定めた実施計画ですので、当初計画からの引継ぎを重視するといったものではなく、年度ごとに定めた事業内容を、当該年度でどれだけ実施できたかといった点を評価いただければよいと考えており、実施計画の3年間を一つのスパンとして考えていただければよいかと考えています。

委員 例えば、当委員会としては、令和3年度までに目的を達成したものは維持項目として評価の対象としない。そして、維持を前提として問題がある部分について、新しく評価をしていくとしないと難しくなるのかなという気がしました。

委員 参考として、令和3年度の評価を記載できないでしょうか。

委員 達成したものを計画の中に入れるとすると、「ちゃんと維持しているか」の評価になるので、達成されたものは、その程度にして、新機軸について、評価に集中していくとしないと、職員の方も、どこまで山を登っていかないといけないのかとなってしまうと思います。

委員 実施計画の評価欄についての意見ですが、推進本部の評価の記載をもっと充実していただきたいと思います。

事務局 推進本部の評価の記載において、過年度分の達成状況をもとに、「維持項目である」、「新機軸である」といったことを明らかにしたうえで、確立委員会の評価をいただくようにすれば、委員の皆様には、「維持項目」なのか「重点課題又は引き続きしっかり取り組むべきものか」を把握していただけるのではないのでしょうか。

委員 当面は、それで結構です。

委員 試行錯誤しながら、長期的な視点で検討しましょう。

（2） 内部統制制度の導入について

事務局 資料に基づき説明

委員 評価シートの黄色のセルの意味はなんでしょう。

事務局 評価シート作成上のルールに基づくもので、例示されたものを選択した以外の場合には着色するものです。

委員 内部統制制度における当委員会の検討、検証が独自性を持つのか、存在意義がどうなのかといった視点で読ませていただきました。

委員 シートは、各課で作成するのですか。

事務局 はい。

委員 職員の反応はどうでしょうか。

事務局 作成に先立ち、キックオフ研修、及び洗い出し説明会を行っており、説明を十分にしているためか、作成自体に対しては特に困難であるとの意見はありません。

委員 作成後に事務局、又は受託業者がチェックするのですか。

事務局 はい。ヒヤリングを実施してブラッシュアップする予定で進めております。

委員 重要な部分が抜けてしまわないかが懸念されますね。このシートは国や先進事例でも示されているのでしょうか。

事務局 国のガイドラインにシートの例示があり、また県や指定都市は令和2年度に内部統制を実施し、実績や評価が公表されております。

委員 重要なところに穴がないように他の実績を参考にするのも良いと思います。

委員 この作業に対して、コンプライアンスの取組との二重の作業といった、職員の負担感は感じられませんか。

事務局 そういった負担を避けるため、第二次推進計画では、内部統制に関する施策を廃止する等しております。

委員 このシートは、下野市独自のものといった性格のものではないものなのですね。粛々と進めていただければと思います。

事務局 継続性、達成したものの維持、推進本部の評価について、対応してまいりたいと考えます。貴重なご意見ありがとうございました。

委員 経緯として、事件が発生し、これまでは、「自分たちで確立していく」と能動的であったものが、だんだんと、「やらされ感」にならないように、しっかり向き合って、下野市を良くしていくという気持ちで、方向でやっていただきたいと思います。我々も一生懸命対応したいと思います。

事務局 本日いただいた意見を参考に、推進本部で検討してまいります。

4 その他

特にありません。

以上